

■九州朝日放送番組審議会議事概要（4月分）

第592回	九州朝日放送番組審議会 議事概要
開催年月日	平成29年4月17日（月） 午後3時30分～5時00分
開催場所	九州朝日放送 本社役員会議室
出席者	<p>委員総数 8名 出席委員数 7名 欠席委員 1名（レポート提出）</p> <p>（出席委員） 宮田克彦委員長、古宮洋二副委員長、 鶴利絵委員、三好京子委員、野田幸之輔委員、 池田勝委員、安恒万記委員</p> <p>（放送事業者側出席者名） 代表取締役社長 和氣靖 常務取締役 二木清彦 取締役編成制作局長 清水透 報道局長 臼井賢一郎 ラジオ局長 園田哲也 報道部長 柴田高宏 スーパーJチャンネル九州・沖縄プロデューサー 西川恵三 ニュース編集長 川崎浩司</p> <p>視聴者・広報室長兼番審事務局 奥園徹 事務局 古賀香織、松永俊郎</p>
議 題	<p><テレビ番組> 「スーパーJチャンネル九州・沖縄とKBCニュースピア」 <放送日> 2017年 3月30日(木) 午後6時15分～午後7時00分 2017年 4月 3日(月) 午後6時15分～午後7時00分 2017年 4月 5日(水) 午後6時15分～午後7時00分</p> <p>1. 平成29年4・5月度ラジオ・テレビ番組編成状況 2. 平成29年3月視聴者・聴取者応答状況の報告 3. その他</p>
議事の概要	<p>◎委員の意見（概要）</p> <p>委員からは</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体的にコンパクトにまとめられている印象で、ニュースのテーマを明確にして深掘りして、わかりやすく面白く制作されている。 ○単に「入社がありました」だけのニュースではなく、新入社員の靴の中の持ち物から今の新社員像を伝えたり、「九大入学式の〇〇デビュー」では新入学生の今風気質を紹介したり、面白い切り口で伝えている。 ○博多駅前地下鉄工事の道路陥落事故の第三者委員会の報告があったが、記録映像や記者会見の中継の後、スタジオからの解説があり、その奥に現場の断面図が出てあって、非常にわかりやすい説明だった。忘れがちになる事故で、継続的な取材、情報発信を期待する。 ○両キャスターは「アナウンサー」というより「キャスター」を意識して発言されている印象を持った。ニュースとトピックスのバランスがよく、大変良いニュースショーになっているのではないかと。45分間飽きることなく見ることができた。 <p style="text-align: right;">などの評価を頂きました。</p> <p>また、気になる点や望むこととしては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ひとつひとつの話題や情報は面白いものはたくさんあったが、雑多でアットランダムに進行するため、わかりにくかったという印象をもった。 ○番組の冒頭で、事件、話題、特集、スポーツ、天気予報をある程度整理をして、大まかなタイムスケジュールの紹介があると非常に見やすくなるのではないかと感じた。 ○気象予報士が変わったこと以外は、リニューアル前後でどこが変わったのかが分かりづらかった。 ○話題（ニュース）を選択する基準があったら教えてほしい。 <p style="text-align: right;">などの批評や提言を頂きました。</p> <p>これらに対して、担当者から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今回は出演者もセットも変わっていないので、見た目の印象はあまり変わっていませんでしたが、少し視点を持たせたり、わかりやすい切り口を心掛けたりしていこうというのが、今回のリニューアルの一番大きなテーマだった。本日はいただいたご意見は今後の参考にしたい。 ○多くの視聴者に共感を得られるような伝え方ができるように記者やデスクの価値観を磨いていきたい。 <p style="text-align: right;">などの説明をしました。</p>